



静岡県出身。東京国際大学経済学部国際学科卒業。米国オレゴン州TIUアメリカ校卒業。1993年株式会社ベンチャー・リンク入社。2010年同社取締役就任。11年同グループのMBOにより独立。インクグロー株式会社の代表取締役社長を務めたのち、15年より現職。地方自治体の地方創生プロモーションの支援に従事する一方、経済産業省「女性起業家等支援ネットワーク構築事業」の静岡県主宰としても活躍している。

地方創生にかかわる中小企業の役割

今求められる 「地域のリーダー像」とは②

09

Human Delight株式会社 代表取締役社長
野田 万起子 のだ まきこ

先月号では、「人材」を、イノベーションを興す「人材」へと進化させていくためには何が求められるかを伝えたいと思いました。

本号では概念を超えて、実際に活躍されている「人材」にスポットを当てたいと思います。同時に、今回は、私のもう一つのミッションでもあります、「女性の活躍推進」の視点から、その活躍をご紹介したいと思います。

千葉県鋸南町に舞い降りた女神 その「想い」が宿すこと

「豊島まゆみ」

それが女神の名前です。1988年、早稲田大学大学院理工学研究科修士課程を修了した、今でいう所の「リケジョ（理系女子）」の豊島氏は、男女雇用機会均等法が施行された年の2期生として三井化学（当時の三井石油化学）に総合職で就職されます。電子部品の研究開発や新規事業立上げに12年間携わり、その後、ボストンコンサルティンググループでコンサルタントを2年半、通販のアスクルや建築金物卸のマツ六で10年、の新規通販事業の立上げ、日本企業のアジア進出支援コンサルティングなどのキャリアを重ねます。

業界では製造業・流通業・コンサルティング、組織においては大企業・中小企業、そして日本・アジアを架け、多様な現場や価値観を経験されていらっしゃる中で色々な選択肢がある中、ご自身のミッションを「最後は日本の地域で働きたい。世界に尊敬される日本の原点、自然豊かな地域で、子どもたちの故郷をつくりたい」とし、現在の活動に身を置いていらっしゃるようです。

駄にもがいていた日々から、学ぶ・やってみるという発想に変わってきました。

そして、一番衝撃的だったのは、「真心」「恕」「志」の真の意味を学んだ時だったと仰います。

「学んで動く」軸を作ることで 成果に結びついたまちづくり

企業などの、ある目的のために合意して集まった組織と比べ、地域は「住む」「働く」「訪れる」人が特段の合意や共通の目的もなく集まります。

豊島氏は、自治体の運営は、普通の団体や組織とは、全く行動原理も管理も勝手が違うからこそ、「真心」「恕」と「志」というお互いへの思いやりと共通の想いの軸を持つことが大事と実感されています。

鋸南町は、豊島氏が地域づくりに関わるようになって5年以下での取り組みを実現させています。

- ・2014年……地域ぐるみで施設を活用するための支援組織「ようこそ鋸南プロジェクト」を発足
- ・2015年……廃校となった小学校を、複合交流商業施設である都市交流施設・道の駅「保田小学校」として開業
- ・2015年……保田小学校を核とした6次産業化と観光振興をスタート

さらに今後の展開として重視しているのは、
・公共施設の機能整備と基幹産業の維持を連動させた地域の産業振興、
・地域に官民連携のための中間組織を作る、
・安心・安全なまちのソフトの仕組みとハードづくりという昇華を目指しています。

「人材」に進化した女神の、まちづくりへの大きな挑戦に目が離せません。

先



鋸山から房総半島方面を望む

「真心」「恕」「志」を学び軸におく

2012年、鋸南町の臨時職員に採用された豊島氏は、町内外の朋友らとともに廃校となる保田小学校の活用を基本構想をスタートさせます。

千葉県鋸南町は、南房総の玄関口に位置する人口8300人の小さなまちです。房総半島の南西部、東京都心から車で約1時間の近さにありながら、美しい里山と里海、菱川師宣や源頼朝や日本寺などの歴史・文化に恵まれています。当初、鋸南町での仕事に「世の中にこんなにやりがいがある仕事があったのか」と臨時職員の仕事に夢中になるも、次第に「公共事業」と「民間事業」とのギャップに悩まれます。良し悪しの判断基準が違う、意思決定の構造もスピードも違う、2年目が終わり事業が実行フェーズに入る頃には、いったい誰と何を話したら物事が前に進むのかという、行政組織の、これまでの経験では中々理解できない不思議な仕組みに途方に暮れ、徐々に孤独を感じるようになったと仰います。そのような時、あるセミナーがきっかけで転機が訪れます。

- ・問題解決のポイントは、①情報共有、②役割分担、③出番創出、④事業構想
- ・説得ではなく、納得・理解
- ・まちづくりのポイント「産業・歴史・文化を掘り起こし、研ぎをかけ世界発信する」、「未来を担う子どもたちに愛着心を育む」
- ・これまでは「できない」と思っていたことに、パラダイムが大きく変わった瞬間でした。
- ・「できないをできる！に変える」。これまで、無